

ドリブル

2020年度 JA全農杯 (チビリンピック)

茅ヶ崎予選大会

優勝：カルペソール湘南

第 498 号

発行：
茅ヶ崎サッカー協会
広報委員会

(Web版 003号)

2020年度 JA全農杯(チビリンピック)茅ヶ崎予選大会が、10月3.4日しおさいグランド他で予選リーグが行われ、台風の影響が心配された11日決勝トーナメントで、カルペソール湘南が昨年に続き優勝した。

チビリンピック茅ヶ崎市代表として出場します。

【結果】優勝: カルペソール湘南

準優勝: FC50.4

3位: FC浜須賀

敢闘賞: 鶴が台スパイダース



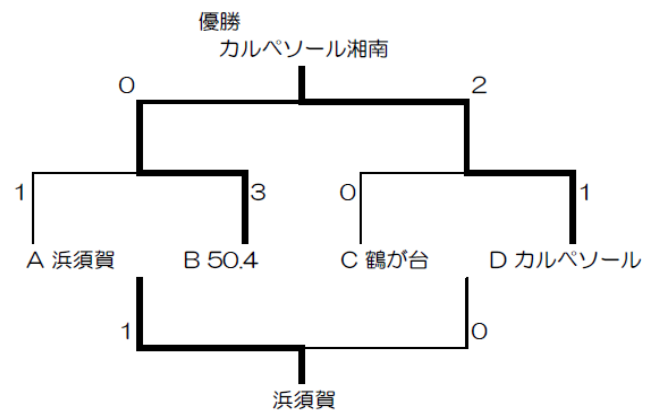
「優勝は、目標への第一歩」

数か月間チビリンピックに向けて選手全員で意識を変えて練習してきました。

予選・本戦ともに手ごわい対戦相手に厳しい試合が続きましたが、ワンチームで戦い抜き、初めて優勝することができて嬉しかったです。でも、この大会を優勝できたことはまだ僕たちの目標への第一歩なので、茅ヶ崎市代表として恥ずかしくない様にこれからもっと練習を重ね、レベルアップして県大会優勝を目指します。

カルペソール湘南 U11キャプテン 西埜泰陽

【決勝トーナメント】



【予選リーグ結果】

Aブロック: 10/4(日)しおさい会場・雨天決行

	小和田	今宿	浜須賀	順位
1	小和田	0 ★ 8	0 ★ 4	3
2	今宿	8 ★ 0	1 ★ 2	2
3	浜須賀	4 ★ 0	2 ★ 1	1

Cブロック: 10/4(日)しおさい会場・雨天決行

	松林	小出	鶴が台	順位
7	松林	2 ★ 3	1 ★ 0	2
8	小出	3 ★ 2	0 ★ 2	3
9	鶴が台	0 ★ 1	2 ★ 0	1

Bブロック: しおさい会場 (雨天決行)

	50.4	鶴嶺	浜見平	順位
4	50.4	2 ★ 0	5 ★ 0	1
5	鶴嶺	0 ★ 2	2 ★ 1	2
6	浜見平	0 ★ 5	1 ★ 2	3

Dブロック(第3試合以降): 10/3(土)東チタG会場 (雨天時10/4(日)しおさい会場に順延)

	東海岸	梅田	松浪	カルペソール	順位
10	東海岸	2 ★ 1	1 ★ 0	0 ★ 4	2
11	梅田	1 ★ 2	0 △ 0	0 ★ 1	3
12	松浪	0 ★ 1	0 △ 0	0 ★ 6	4
13	カルペソール	4 ★ 0	1 ★ 0	6 ★ 0	1

令和2年度協会長杯 (中学) 優勝：浜須賀中学校



令和2年度協会長杯が、9月22日予選リーグ、10月3日は、6チームによる決勝リーグ、そして10月4日決勝戦が行われ、浜須賀中学校が優勝した。

- 優勝：茅ヶ崎市立浜須賀中学校
- 準優勝：茅ヶ崎市立第一中学校
- 第3位：寒川町市立旭が丘中学校
- 茅ヶ崎市立松林中学校

《 決勝リーグ 》

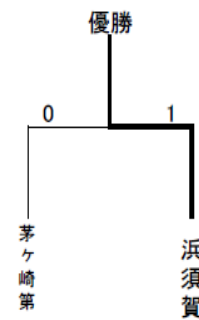
αブロック 会場:鶴が台中学校

	第一	鶴が台	松林	勝ち点	得失点差	得点	失点	順位
第一		3-1 ○	2-1 ○	6	3	5	2	1
鶴が台	1-3 x		0-3 x	0	-5	1	6	3
松林	1-2 x	3-0 ○		3	2	4	2	2

βブロック 会場:西浜中学校

	松浪	旭が丘	浜須賀	勝ち点	得失点差	得点	失点	順位
松浪		0-1 x	0-13 x	0	-14	0	14	3
旭が丘	1-0 ○		0-3 x	3	-2	1	3	2
浜須賀	13-0 ○	3-0 ○		6	16	16	0	1

《 決勝 》



10月4日(日) 会場:茅ヶ崎市立梅田中学校

時間	対戦
9:00	第一 0 0-1 1 浜須賀 0-0

～コーナーフラッグ～

茅ヶ崎サッカー協会参与 広報委員会委員 三浦 寛二

「2021 WEリーグ開幕」

「スポーツを通じて、夢や生き方の多様性にあふれ、一人ひとりが輝く社会の実現と発展に貢献する」ことを理念に、現在の「なでしこリーグ」の上位に位置する、日本女子サッカーのトップリーグとして「WEリーグ」が2021年秋に開幕する。

同時に、女子監督を増やすためにJリーグのチームを指揮できるS級ライセンスに準ずる新たな指導者ライセンスができることになり、初年度13人が受講することが決まり、この9月より講習が始まったようだ。

因みに、欧州サッカー連盟では最上級資格を持った女性が120人を超えているというが、日本ではS級取得者は502人に達する一方、女性は8人だけという。WEリーグ発足の理念に向け、女子サッカー発展のため、多くの女性の進出を期待したい。

▲withコロナ中の運動不足解消の手段としてランニング愛好者が増加しており、箱根駅伝で人気になった厚底シューズを「試してみたい」という希望者が相変わらず増しているという。

カーボンファイバー製プレートを挟み、衝撃吸収材エアポットを使用する厚底革命が、サッカー用スパイクにも影響を与えているのだろうかと思い、スポーツショップを訪ね、そのへんのことを少し聞いてみたが、ボールに回転を加えるべく表皮に工夫をしたものはあるが、ランニングシューズに使用されているような新素材を使用しているサッカー用スパイクはないという。何故か、ほっとしたような気がした。

フィット感の良い国内メーカーのカンガルー皮を使用したベーシックモデルが変わらぬ人気ということでした。